

## 若い力が「まち美化」に参加

## クリーン&amp;ハートフル川越

## 1. 高校生4人が春休みに応援

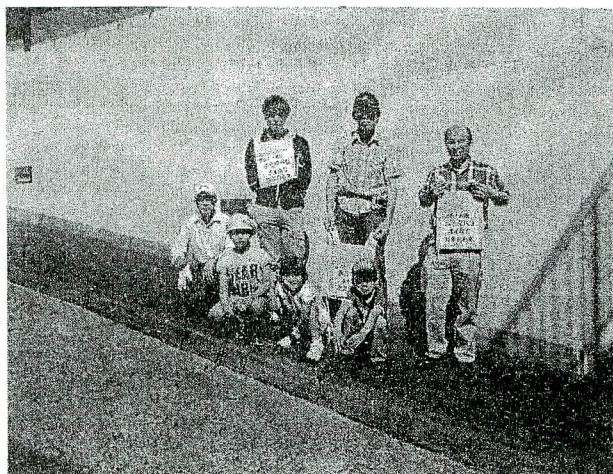
3月24日の第4土曜日、かわごえ環境ネットのホームページに載っていたごみ拾いに参加したいのだがとの連絡を1週間前に受けました。高校生4人での参加でした。当日、川越駅東口交番前で落ち合い、こちらの大人と1人ずつ組んで、4コースに分かれて本川越駅まで、1時間半のごみ拾いを行いました。

市民モラルの向上と啓発についての意見交換もあわせて行い、老人たちのグチも聞きながらの、貴重な活動でした。終わって学校名と名前を聞きましたが、栄北高校生で、上尾やさいたま市から交通費をかけてのボランティア活動で感謝いっぱいでした。



拾ったごみを前にパチリ

## 2. GWを前に親子でごみ拾い



トングを手に親子記念に

3連休が始まる4月28日の第4土曜日、小学生を連れた親子3組が飛び入り参加してくれました。実際にトングを持って八幡通りから本川越へのごみ拾いに参加、道行く人らから褒められたとのことでした。「俺らは捨てないけど、大人が駄目だ」との鋭い感想でたじたじでした。

(武田侃蔵)

## 川越市・近隣市・流域の話題

## 第6回川越市廃棄物減量等推進審議会を傍聴して

昨年8月22日に市長から出された「家庭ごみの処理費用の公平化を図るための有料化」対策についての審議が5回にわたって開かれました。第6回目の4月13日は、今までの審議を整理して中間報告にまとめ、今後は幅広く市民の意見を聞いて再度審議することになりました。

報告の骨子は、①対象は家庭の可燃ごみ②指定袋方式③1枚目からの単純比例方式④4人家族1か月500円程度の負担⑤1L当たり単価1.5円⑥大・中・小の3袋⑦市内スーパー等で販売

⑧収入の用途はごみ減量の啓発費にとままとまりました。

今後、市民の意見を幅広く吸い上げますが、皮切りに、6月中旬に、環境推進員100人を対象に講演とワークショップ方式での意見聴取を行います。続いて、6～8月にかけて100人の公募市民によるワークショップ、インターネットによる意見公募と、市民参加による意見の吸い上げを予定しています。

(武田侃蔵)